

## 平成28年度裾野市一般会計決算の概要

歳入決算額	21,827,583千円	(対前年度比	△6.1%	△1,418,311千円)
歳出決算額	21,223,840千円	(対前年度比	△4.1%	△899,118千円)
歳入歳出差引額	603,743千円			
翌年度へ繰り越すべき財源	78,701千円			
実質収支額	525,042千円	(うち財政調整基金繰入れ 270,000千円)		

### 歳入・歳出の特徴

○歳入決算額は、対前年比 △6.1%、1,418,311千円の減となった。

主な増額要因：繰越金が繰越明許費の増等により169,144千円の増、諸収入が富士山南東消防組合人件費負担金の増等により265,760千円の増となった。

主な減額要因：税率改正等により法人市民税が278,868千円の減、国庫支出金が最終処分場(第二期)整備事業の完了や消防車整備事業の減等により333,740千円の減、市債が最終処分場(第二期)整備事業や東小学校大規模改修事業の完了等により949,200千円の減となった。

○歳出決算額は、対前年比 △4.1%、899,118千円の減、執行率は94.2%となった。

主な増額要因：総務費が償還金の増により298,681千円の増、消防費が富士山南東消防組合負担金等により323,368千円の増、民生費が臨時福祉給付金事業等の増により128,494千円の増となった。

主な減額要因：衛生費が最終処分場(第二期)整備事業の完了により846,642千円の減、土木費が裾野駅周辺整備費の減等により470,266千円の減、教育費が東小学校大規模改修事業の完了等により、350,310千円の減となった。

### 歳入の主な項目

(単位：千円、%)

区 分	28年度	27年度	増減額	増減率 (%)	備 考
市 税	10,894,905	11,075,002	△ 180,097	△ 1.6	
個人市民税	3,270,753	3,286,937	△ 16,184	△ 0.5	
法人市民税	1,647,356	1,926,224	△ 278,868	△ 14.5	
固定資産税(交付金含)	5,056,269	4,947,838	108,431	2.2	
軽自動車税	125,692	107,595	18,097	16.8	
市たばこ税	386,590	404,956	△ 18,366	△ 4.5	
都市計画税	408,245	401,452	6,793	1.7	充当状況は、P14「都市計画税充当状況」を参照
地方譲与税	175,309	191,605	△ 16,296	△ 8.5	
地方消費税交付金	1,034,188	1,158,507	△ 124,319	△ 10.7	
地方交付税	63,196	89,223	△ 26,027	△ 29.2	
国庫支出金	2,861,902	3,195,642	△ 333,740	△ 10.4	
県支出金	915,018	943,293	△ 28,275	△ 3.0	
財産収入	95,615	82,614	13,001	15.7	
繰入金	939,360	948,459	△ 9,099	△ 1.0	
都市施設建設基金繰入金	230,000	85,000	145,000	大幅増	
財政調整基金繰入金	683,746	780,781	△ 97,035	△ 12.4	
繰越金	772,936	603,792	169,144	28.0	
諸収入	1,690,525	1,424,765	265,760	18.7	
市 債	1,124,600	2,073,800	△ 949,200	△ 45.8	

歳出の主な項目

□ 款別経費の特色

(単位：千円、%)

区 分	28年度	27年度	増減額	増減率 (%)	主な増減理由
議 会 費	204,005	219,392	△ 15,387	△ 7.0	議員共済費の減など
総 務 費	2,474,872	2,176,191	298,681	13.7	過誤納市税還付金の増など
民 生 費	5,590,154	5,461,661	128,493	2.4	臨時福祉給付金事業費の増など
衛 生 費	2,412,776	3,259,418	△ 846,642	△ 26.0	最終処分場(第二期)整備事業完了に伴う減など
労 働 費	688,368	760,572	△ 72,204	△ 9.5	勤労者住宅建設資金貸付金の減など
農林水産業費	382,208	378,453	3,755	1.0	集会場建設事業費の増など
商 工 費	238,790	227,523	11,267	5.0	企業立地促進事業費の増など
土 木 費	2,900,404	3,370,669	△ 470,265	△ 14.0	裾野駅周辺整備費の減など
消 防 費	1,374,644	1,051,276	323,368	30.8	富士山南東消防組合負担金の増など
教 育 費	2,800,039	3,150,349	△ 350,310	△ 11.1	東小学校大規模改修事業費の減など
諸 支 出 金	415,277	352,758	62,519	17.7	都市施設建設基金等の積立金の増など
公 債 費	1,742,303	1,714,696	27,607	1.6	元利償還金の増

□ 性質別経費の特色

(単位：千円、%)

	28年度	27年度	増減額	増減率 (%)	主な増減理由
物 件 費	3,803,469	3,886,807	△ 83,338	△ 2.1	光熱水費、委託料の減など
維持補修費	188,984	168,366	20,618	12.2	道路橋梁維持費の増など
扶 助 費	3,626,378	3,603,857	22,521	0.6	臨時福祉給付金事業費の増など
補 助 費 等	2,221,997	1,068,241	1,153,756	大幅増	富士山南東消防組合負担金の増など
普通建設事業費	3,236,845	5,248,338	△ 2,011,493	△ 38.3	
うち補助分	1,161,867	2,620,463	△ 1,458,596	△ 55.7	最終処分場(第二期)整備事業費の減など
うち単独分	1,930,227	2,528,079	△ 597,852	△ 23.6	土地区画整理事業費の減など
積 立 金	422,630	358,086	64,544	18.0	都市施設建設基金積立金の増など

□ 各種会計決算総括表

(単位：千円)

	歳入	歳出	歳入歳出差引額	実質収支額	備 考
一般会計	21,827,583	21,223,840	603,743	525,042	
特別会計	10,823,016	10,290,358	532,658	531,933	
国民健康保険	5,902,265	5,567,045	335,220	335,220	
後期高齢者医療	479,864	476,770	3,094	3,094	
介護保険	3,196,808	3,006,089	190,719	190,719	
土地取得	920	919	1	1	
十里木高原簡易水道	49,679	49,678	1	1	
下水道事業	1,147,046	1,146,320	726	1	
墓地事業	46,434	43,537	2,897	2,897	
合 計	32,650,599	31,514,198	1,136,401	1,056,975	

			決算額	備 考
水道事業会計	収益的	収入	1,014,194	資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額221,447千円は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんした。
		支出	738,616	
	資本的	収入	60,827	
		支出	282,274	

地方債及び基金現在高

	28年度	27年度	増減額	備 考	28年度 市民1人あたり
地方債	19,578,685	19,972,707	△ 394,022		372,289 円
基金	8,961,868	9,104,283	△ 142,415		170,410 円
うち財政調整基金	5,376,184	5,706,526	△ 330,342		102,228 円
うち都市施設建設基金	2,113,063	2,102,630	10,433		40,180 円

平成29年3月31日現在 住民基本台帳人口

52,590 人

## 平成28年度裾野市特別会計決算の概要

### ◆ 国民健康保険特別会計

歳入決算額	5,902,265千円	(対前年度比)	△0.7%	△42,495千円)
歳出決算額	5,567,045千円	(対前年度比)	△2.6%	△146,064千円)
歳出執行率	97.3%			

#### 歳入の主な項目

(単位：千円、%)

	28年度	27年度	増減額	増減率 (%)
国保税	1,219,214	1,261,247	△ 42,033	△ 3.3
国庫支出金	970,518	795,756	174,762	22.0
療養給付費等交付金	158,329	200,715	△ 42,386	△ 21.1
繰入金	364,317	370,045	△ 5,728	△ 1.5
他会計繰入金	364,317	370,045	△ 5,728	△ 1.5

#### 歳出の主な項目

(単位：千円、%)

	28年度	27年度	増減額	増減率 (%)
保険給付費	3,407,966	3,400,552	7,414	0.3
介護納付金	235,719	255,245	△ 19,526	△ 7.6
共同事業拠出金	1,152,618	1,169,280	△ 16,662	△ 1.4
保健事業費	55,525	57,644	△ 2,119	△ 3.7

### ◆ 後期高齢者医療事業特別会計

歳入決算額	479,864千円	(対前年度比)	7.5%	33,336千円)
歳出決算額	476,770千円	(対前年度比)	7.8%	34,609千円)
歳出執行率	98.2%			

#### 歳入の主な項目

(単位：千円、%)

	27年度	27年度	増減額	増減率 (%)
保険料	411,055	381,072	29,983	7.9
繰入金	62,637	59,499	3,138	5.3

#### 歳出の主な項目

(単位：千円、%)

	28年度	27年度	増減額	増減率 (%)
広域連合納付金	476,166	441,669	34,497	7.8

### ◆ 介護保険特別会計

歳入決算額	3,196,808千円	(対前年度比)	4.7%	142,590千円)
歳出決算額	3,006,089千円	(対前年度比)	2.7%	80,415千円)
歳出執行率	94.2%			

#### 歳入の主な項目

(単位：千円、%)

	28年度	27年度	増減額	増減率 (%)
保険料	787,541	755,591	31,950	4.2
国庫支出金	590,939	571,614	19,325	3.4
支払基金交付金	756,670	762,492	△ 5,822	△ 0.8
県支出金	433,477	426,983	6,494	1.5
繰入金	497,327	471,922	25,405	5.4
一般会計繰入金	485,327	471,922	13,405	2.8

#### 歳出の主な項目

(単位：千円、%)

	28年度	27年度	増減額	増減率 (%)
総務費	130,386	127,426	2,960	2.3
保険給付費	2,691,539	2,699,837	△ 8,298	△ 0.3
地域支援事業費	53,275	54,669	△ 1,394	△ 2.5

◆ 土地取得特別会計

歳入決算額 920千円 (対前年度比 大幅増 712千円)  
 歳出決算額 919千円 (対前年度比 大幅増 712千円)  
 歳入の主な項目 (単位：千円、%)

	28年度	27年度	増減額	増減率 (%)
財産収入	919	207	712	大幅増

歳出の主な項目 (単位：千円、%)

	28年度	27年度	増減額	増減率 (%)
用地取得費	919	207	712	大幅増

◆ 十里木高原簡易水道特別会計

歳入決算額 49,679千円 (対前年度比  $\Delta 7.4\%$   $\Delta 3,978$ 千円)  
 歳出決算額 49,678千円 (対前年度比  $\Delta 7.4\%$   $\Delta 3,978$ 千円)  
 歳入の主な項目 (単位：千円、%)

	28年度	27年度	増減額	増減率 (%)
使用料	31,135	30,779	356	1.2
分担金及び負担金	108	108	0	0.0

歳出の主な項目 (単位：千円、%)

	28年度	27年度	増減額	増減率 (%)
水道管理費	49,519	53,497	$\Delta 3,978$	$\Delta 7.4$

◆ 下水道事業特別会計

歳入決算額 1,147,046千円 (対前年度比  $\Delta 0.3\%$   $\Delta 2,940$ 千円)  
 歳出決算額 1,146,320千円 (対前年度比  $\Delta 0.3\%$   $\Delta 2,965$ 千円)  
 歳出執行率 93.1%

歳入の主な項目 (単位：千円、%)

	28年度	27年度	増減額	増減率 (%)
分担金及び負担金	43,996	12,737	31,259	大幅増
使用料及び手数料	194,379	188,711	5,668	3.0
国庫支出金	127,350	141,950	$\Delta 14,600$	$\Delta 10.3$
繰入金	491,109	506,967	$\Delta 15,858$	$\Delta 3.1$
市債	289,100	291,400	$\Delta 2,300$	$\Delta 0.8$

歳出の主な項目 (単位：千円、%)

	28年度	27年度	増減額	増減率 (%)
事業費	686,013	696,826	$\Delta 10,813$	$\Delta 1.6$
公共下水道事業費	433,395	446,413	$\Delta 13,018$	$\Delta 2.9$
流域下水道事業費	16,119	34,755	$\Delta 18,636$	$\Delta 53.6$
総務管理費	212,209	195,029	17,180	8.8
公債費	460,307	452,460	7,847	1.7

◆ 墓地事業特別会計

歳入決算額 46,434千円 (対前年度比  $\Delta 12.4\%$   $\Delta 6,551$ 千円)  
 歳出決算額 43,537千円 (対前年度比  $\Delta 14.1\%$   $\Delta 7,123$ 千円)  
 歳出執行率 91.4%

歳入の主な項目 (単位：千円、%)

	28年度	27年度	増減額	増減率 (%)
事業収入	23,416	19,832	3,584	18.1
繰入金	18,673	20,989	$\Delta 2,316$	$\Delta 11.0$
市債	2,000	9,400	$\Delta 7,400$	$\Delta 78.7$

歳出の主な項目 (単位：千円、%)

	28年度	27年度	増減額	増減率 (%)
墓地事業費	5,980	14,008	$\Delta 8,028$	$\Delta 57.3$
公債費	37,557	36,651	906	2.5

## 主要事業の概要

### 1. だれもが将来にわたってすこやかに暮らせる健康と福祉の「すその」

(単位:千円)

No.	区分	事務事業名	事業概要	決算額	事業コード	備考
1	継続	ヘルシーパーク裾野管理運営費	ヘルシーパーク裾野を指定管理者に委託することにより効率的な管理運営を図った。	28,741	0338	
2	新規	ヘルシーパーク裾野修繕事業	ヘルシーパーク裾野の経年劣化箇所に係る修繕工事を実施した。	7,112	0338	
3	継続	母子保健事業費	妊娠から出産、育児まで一貫して安心安全に暮らせるため、母子健康診査等の事業を実施した。	55,045	0402	
4	継続	母子保健事業費 (不妊治療費助成事業)	不妊治療費の経済的負担の軽減を図るため、治療費の一部を助成した。	9,846	0402	
5	継続	すその健康マイルージ事業	市民の健康づくりへの意識向上を図るため、「健康マイルージ」ポイント制度を導入し、ポイント達成者に対し記念品を提供した。	253	0406	
6	継続	福祉保健会館管理事業	福祉保健会館の維持管理を実施した。	45,449	0409	
7	継続	筋力向上トレーニング事業	認知動作型トレーニングマシン等による成人の運動習慣の定着を図った。	3,686	0406 1092	健康推進課: 443 生涯学習課: 3,243
8	新規	活動量計を活用した運動事業	成人病リスクを軽減するため、活動量計を活用し、住民が楽しみながら健康づくりに取組める仕組みの構築及び環境の整備を実施した。	967	0406	
9	継続	予防接種事業	定期予防接種及び任意予防接種を実施した。 *補正: (新規)B型肝炎ワクチン定期予防接種事業	147,598	0410	【第4回補正】
10	継続	各種がん検診事業	早期発見、早期治療に向けて、成人各種がん検診を実施した。	201,038	0425	【第5回補正】
11	主要 継続	子育て支援情報発信事業	子育て世代が持つ、子育てに対する不安や孤立感を解消するため、行政と市民で情報の双方向性を持てるスマートフォンのアプリケーションを更に充実させ、子育て支援を行った。	1,713	0237	
12	継続	こども医療費助成事業	保護者の負担軽減を図り小中学生の健やかな成長に寄与するため医療費を助成した。	113,533	0340	
13	継続	児童手当事業	生活の安定、次代を担う児童の健全育成、資質の向上を目的として手当を支給した。	923,521	0340	
14	継続	乳幼児医療費助成事業	保護者の負担軽減を図り乳幼児の健やかな成長に寄与するため医療費を助成した。	117,693	0340	
15	継続	未熟児養育医療費助成事業	入院療法を必要とする未熟児に対して医療費を助成した。	3,468	0340	
16	主要 継続	子育て中の母親ネットワーク形成事業	子育て中の母親のネットワーク構築を促すため、子育て中の方々の有するスキルを有効に活用して、各種講座(英語教室、リミック、ハトン、体操教室等)を開催した。	500	0344	
17	主要 継続	企業、市民との協働による子育てにやさしい街づくり事業(子育て情報サイト更新事業)	子育て世代に特化した情報発信・共有を図るため、企業や市民の有する子育てに有効な各種情報等を収集したサイトの維持管理を実施した。	436	0344	
18	継続	児童館改修事業	北児童館外壁改修工事を実施し、建物使用を延命化した。	5,467	0355	
19	継続	児童扶養手当支給事業	ひとり親家庭等の生活安定に寄与するとともに次代を担う児童の健全育成及び資質の向上のために扶養手当を支給した。	136,695	0360	
20	継続	母子家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭の負担軽減を図り児童の健やかな成長に寄与するため医療費を助成した。	7,232	0360	
21	継続	母子家庭等自立支援事業	ひとり親家庭の母または父が自立に向けて就業に有利となる資格取得に係る経費等を支給した。	1,551	0360	
22	主要 継続	認証保育所運営事業	子育て環境を整備するため、一定基準を満たす認可外保育施設を市独自に認証し、運営費を助成した。	10,322	0345	
23	継続	公立保育園運営事業	公立保育園の運営、施設の管理を行った。	10,187	0345	
24	継続	私立保育園運営事業	私立保育園の運営に対して補助を行った。	536,229	0345	
25	継続	特別保育事業等補助金交付事業	特別保育等を実施する私立保育園に対して事業費の補助を行った。	37,417	0345	
26	将来 新規	多子世帯子育て支援事業	多子世帯の子育てを支援するため、保育園、幼稚園の利用者負担額を第二子半額、第三子以降無料にする。	76,200	0345	
27	将来 継続	幼児を対象とした外国文化ふれあい事業	保育園・幼稚園に外国語指導助手(ALT)を派遣し、挨拶や簡単な会話、歌、ゲームを楽しむことを通じて、幼少期から外国語や異文化に慣れ親しむ機会をつくる。	4,407	0345 1045	
28	継続	公立幼稚園運営事業	公立幼稚園の運営、施設の管理を行う。	9,856	1045	
29	継続	裾野市私立幼稚園授業料等負担軽減事業費補助金	私立幼稚園の保護者の経済的負担を軽減するため授業料・施設設備費補助を行う。	10,994	1045	

30	主要継続	地域における子育て相談体制強化事業	「地域との連携強化」を進め、「協働」の意識のもと、きめ細やかな相談業務や支援を実施するための体制づくりを進めるため、①「子育て支援パートナー」の養成 ②「子育て相談支援員」の配置を行った。	681	0340	【繰越明許費：620千円】
31	主要継続	みらいのハバママスクール事業	若年層に対する「結婚から育児まで」の意識を高め、将来「親」となることの大切さを理解してもらうため、中学生及び独身の社会人を対象に結婚・妊娠・出産・育児について学ぶ「みらいのハバママスクール」を開催した。	377	0340	【繰越明許費：377千円】
32	継続	放課後児童健全育成事業	昼間保護者がいない家庭の児童を預かることにより安全で豊かな放課後生活を確保した。①子育てしやすい環境を整えるため、開室時間の1時間延長、②千福が丘小放課後児童室拡充(繰越明許)を実施した。	38,550	0341	【繰越明許費：1,405千円】
33	主要継続	裾野赤十字病院救急医療対策補助事業	年々増加する救急医療に対応するため、補助を実施した。	60,000	0401	
34	主要継続	裾野赤十字病院医療機器整備費補助事業	医療機器の充実が図られるための補助を実施した。	15,000	0401	
35	主要継続	裾野赤十字病院医師確保等支援事業	医師の事務負担を軽減するための職員に関わる経費を補助し、医師の確保を図った。	2,000	0401	
36	継続	裾野赤十字病院施設整備費補助事業	裾野赤十字病院の医療環境の向上及び充実を図るため、施設の整備に対し助成した。	70,528	0401	
37	継続	沼津医師会救急医療委託事業	裾野市内における在宅輪番制による初期救急医療、外科第2次救急医療、脳神経外科第2次救急医療及び循環器科第2次救急医療に関し委託した。	19,504	0401	
38	継続	沼津夜間救急医療センター運営事業	沼津夜間救急医療センターの運営について関係する3市3町が、人口割、患者数割で負担金を交付した。	15,964	0401	
39	継続	広域救急医療情報システム等運用負担金	市民が安心して医療を受けられるように、二次救急医療の充実を図るため、新たな広域救急医療情報システム等の運営費用を負担した。	3,141	0401	
40	継続	国民健康保健特別会計繰出金	国民健康保健特別会計への一般会計からの繰出金	364,617	0303	
41	継続	後期高齢者医療事業	後期高齢者医療特別会計への一般会計からの繰出金	62,637	0426	
42	新規	レプト二次点検委託事業	診療報酬請求明細書(レプト)の増加に対応するため、点検の一部(二次点検)を委託し、点検水準の維持・向上を図った。	683	5201	
43	継続	健康・医療情報を活用した予防・保健事業(デジタルヘルス事業)	市の特性に沿った、効果的・効率的な予防・保健事業を図るための実施計画に基づき、生活習慣病の予防等を通じて、医療費の削減に資した。	21	5302	
44	新規	福祉保健会館大規模改修工事及び実施設計事業	福祉保健会館雨漏り等の改修工事に係る実施設計を行った。	2,916	0409	
45	継続	社会福祉協議会補助金事業	地域福祉の推進を目的に社会福祉法に基づき設置された社会福祉協議会の運営費を補助した。	17,719	0301	
46	継続	生活保護事業(その他扶助含む)	生活困窮者に対する、生活・住宅・介護・教育・医療等の扶助を行った。	197,304	0365	
47	主要継続	臨時福祉給付金給付事業	消費税率の引き上げの影響等を踏まえ、低所得者に対し給付措置を行った。	26,348	0301	
48	継続	生活困窮者支援事業	生活困窮者からの相談に対応するため相談窓口等の拡充を図った。(国制度改正事業)	5,003	0365	
49	継続	老人福祉センター運営事業	老人福祉センターの維持保全及び管理を委託した。	13,403	0306	
50	継続	敬老会事業	老人の日、老人週間にあたり、高齢者を敬い励ますことを目的に敬老会を開催した。	23,784	0306	
51	継続	高齢者医療費助成事業	高齢者の医療費自己負担の一部を助成した。	26,808	0306	
52	継続	生きがい対応型デイサービス事業	独居高齢者に週3回レクリエーション等の各種サービスを提供した。	4,236	0306	
53	継続	在宅高齢者等食事サービス事業	独居(世帯)高齢者に週3回の配食と安否確認を行った。	2,321	0306	
54	継続	老人日常生活用具給付・貸与事業	介護認定を受けた在宅の高齢者が使用する紙おむつ等の購入費を助成した。	7,283	0306	
55	継続	高齢者保健福祉計画等策定調査事業	第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画(平成30～32年度)策定のための事前アンケート調査を実施した。	789	0306	
56	継続	老人ホーム入所措置事業	身寄りが無いか、身内からの支援を受けることが困難な65歳以上の高齢者で在宅での生活が困難な者に、生活の場を提供した。	44,535	0308	
57	継続	シルバー人材センター運営費補助事業	高齢者への就労支援や生きがい対策として、シルバー人材センターの運営に対し補助金を交付した。	11,700	0520	
58	継続	介護保険事業	介護保険特別会計への一般会計からの繰出金	485,327	0304	

59	新規	臨時福祉給付金(経済対策分)給付事業	平成31年9月までの2年半分を一括して給付措置を行うものであり平成29年度も事業継続中。(15,000円/人)	3,024	0301	【第5回補正】
60	新規	年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業	消費税率の引き上げの影響等を踏まえ、低所得の高齢者に対し給付措置を行った。	89,693	0301	【繰越明許費:89,693千円】
61	継続	重度障害者児医療費助成事業	重度障がい者児の医療費自己負担分を助成した。	84,484	0312	
62	継続	障害者医療費助成事業	身体障がい者等に対して医療費を助成した。	16,905	0313	
63	継続	障害児者ライフサポート事業	障がい児者及び家族に対する生活サービスを提供した。	304	0314	
64	継続	障害児入所給付費等事業	児童発達支援、放課後等サービス、保育所等訪問支援等を通して障害特性に応じた専門的な支援を行った。	130,673	0313	
65	主要継続	障害者相談支援事業	障がい者の課題解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援するため、福祉サービス利用者全員へ計画相談と合わせ一般相談の体制充実を図った。	28,566	0314	
66	継続	難病患者介護家族リフレッシュ事業	在宅で人工呼吸器を使用している方等を対象に、患者家族の介護負担の軽減を図るため、訪問看護費用の一部を助成した。	74	0314	
67	継続	障害者自立支援給付事業	在宅での入浴等の介護、外出への支援や、施設での介護・訓練等にかかるサービスの提供及び補装具の助成を行った。	571,418	0313	【第5回補正】

## 2. 成長するよこびと地域のつながりでこころの豊かさを育む「すその」

No.	区分	事務事業名	事業概要	決算額	事業コード	備考
68	新規	小学校施設 外部非構造部材耐震化および外観美化事業	須山小学校の老朽化に伴い外壁、軒天井のクラック・浮き・剥離が顕著であるため、外壁改修及び外壁塗装を行った。	25,343	1011	
69	新規	小学校 木造屋内運動場 防腐・防水対策措置事業	須山小学校屋内運動場の外部に面している大断面集成材の構造部材に塗膜の劣化、腐りが表れてきているため、防腐・防水処理を行った。	12,753	1011	
70	継続	小学校管理運営事業	小学校施設の管理運営を行った。	196,651	1011	
71	継続	中学校管理運営事業	中学校施設の管理運営を行った。	116,526	1030	
72	継続	自校給食小学校食器入替え事業	経年劣化した食器の更新を行った。	1,304	1021	
73	継続	給食センター受配校食器入替え事業	経年劣化した食器の更新を行った。	1,843	1037	
74	継続	裾野市地域学校支援事業	地域ぐるみで学校の教育活動に関わるボランティア活動を促進した。	1,196	1005	
75	継続	不登校・問題行動等対策事業	学校支援相談員2名を配置し、市内の教育現場の抱える諸問題(問題行動等)の改善を図った。	2,058	1005	
76	継続	児童生徒健康診断事業	児童・生徒の健康診断及び就学時健康診断を行った。	19,927	1005	
77	継続	非常勤講師派遣事業	TT(ティーム・ティーチング)による学習支援及び児童生徒の生活支援を行った。	139,601	1005	
78	継続	学力向上支援事業	児童生徒の学力の向上を図るため、少人数指導等、きめ細やかな指導に当たる学力向上支援員(講師)を配置した。(小学校3名、中学校1名)	9,616	1005	
79	将来継続	「学びの森」運営事業	子どもに質の高い教育を提供していくために、「学びの森」を設置・運営する。「学びの森」では専門的な指導員を配置し、①教職員の研修体制の充実 ②学校と地域の連携協力の推進 ③児童生徒、保護者との教育相談を進めた。	14,603	1005	
80	将来継続	学力向上ボランティア事業	自主的な学習を希望する児童生徒の指導のために、放課後や夏休みなどに学力向上ボランティアを配置し、きめ細やかな学習支援体制を構築した。	795	1006	
81	継続	特別支援員配置事業	児童生徒の学力向上の一環として、落ち着いた学習環境を確保するため特別支援員を配置した。(小学校10名)	13,631	1005	
82	継続	外国語教育・海外交流事業	小中学校の英語教育の充実に向け、質の高いALT業者をプロポーザル方式により選定した。	16,057	1005	
83	継続	ふれあい教室事業	不登校対策事業の一環として適応指導教室を開設し、教育相談員を配置することによって、不登校状態にある児童生徒及び保護者への教育相談、並びに児童生徒への学習指導・生徒指導の強化を図った。	5,641	1005	
84	将来継続	ほんものふれあう学習事業	児童・生徒が文化・芸術を鑑賞したり、外部講師(トップアリスト・芸術家など)の講演を聴くなど、ほんものふれあう機会を設定した。なお、28年度は、小学校等でアーティストの生演奏を聴く場を設ける「公共ホール音楽活性化(おんかつ)事業」を同時に実施した。	2,896	1006 1088	学校:1,876 生涯:1,020
85	新規	中学校教育備品購入事業	西中学校吹奏楽部の楽器を整備するため、渡辺建設株式会社様からの寄附を活用し、充実した学習環境を整えた。	1,026	1030	【第3回補正】

86	継続	学校施設環境改善交付金事業	国の平成27年度補正予算を活用し、西小学校・富岡第二小学校のトイレの洋式化及び床の乾式化改修工事を行った。	15,579	1011	【繰越明許費： 15,579千円】
87	継続	市民教養講座事業	市民を対象に教養講座を開講した。また、教養講座生・利用者の学習成果を発表する機会として「ゆうあいプラザ祭」を開催した。	1,639	1067	
88	継続	生涯学習センター管理事業	生涯学習センターの維持・管理を行った。	18,933	1066	
89	新規	裾野市平和都市宣言に伴う中学生広島派遣事業	平和都市宣言を記念し、平和への願いと意識の醸成を図るため、7月27日から29日まで市内中学校の生徒10名を広島市に派遣し、戦争と平和について体感したことを市民等に広く伝えた。	721	0201	
90	継続	青少年教育事業	わたしの主張、七歳児祝賀式、成人式を開催した。青少年育成団体活動の補助を行った。	5,047	1058	
91	継続	市民体育館改修事業	耐震補強及び施設改修工事を行った。(平成27～28年度)	349,553	1092	
92	新規	運動公園野球場排水設備改修事業	野球場内に排水が溜まるため、原因を調査した。今後はFM事業計画の中で実施する。	486	1092	
93	継続	学校体育施設開放運営事業	社会体育施策として、市内各小中学校の体育施設を市民に開放した。	2,555	1095	
94	新規	ラグビーウイメンズセvensシリーズ大会誘致事業	7人制女子ラグビーの全国大会を裾野市運動公園陸上競技場で行った。開催にあたり、実行委員会を発足し来場者に交流事業を行った。	500	1090	
95	継続	文化センター管理運営事業	市民を対象に市民文化及び芸術作品の発表の場を提供した。	112,087	1088	
96	継続	図書館施設管理事業	鈴木図書館及び文化センター図書室の管理運営を行った。	39,791	1061	
97	新規	図書館設備改修事業	図書館設備の経年劣化に伴い、外壁(南面)シーリング改修、事務室等空調設備(エアコン)改修工事等を実施した。	5,865	1061	
98	継続	子ども連れ親子交流促進事業	ファーストブック、おはなしの会、ぬいぐるみお泊まり会等子育て世帯を対象としたイベント事業の開催などにより、乳幼児を連れた親子の利用を促進し、親子の交流や本に触れる機会の増加を図った。	901	1062	
99	新規	ライブラリートーク作家の講演会企画運営事業	裾野市民が、興味を持ち参加できるような身近なテーマで講演会等を企画し、サイエンスカフェ、ピブリオバトル、親子読書講演会を開催し、図書館の継続的な利用を促進した。	168	1062	
100	新規	親子読書推進・子育て支援事業	子育て世帯の親子を中心に、ゆっくり本を読んだり、楽しく話ができる場所をつくり開放する「親子ふれあいデー」を毎月開催した。	235	1062	

### 3. 市民と行政が手を携えてつくる安心と活力のある「すその」

No.	区分	事務事業名	事業概要	決算額	事業コード	備考
101	継続	区長活動支援事業	自治組織の円滑な運営を図るため、区長活動費を交付した。	11,843	0235	
102	継続	区運営費補助事業	区の自治組織の円滑な運営、意思の反映及び行政の周知徹底を図るため、区の事務処理に必要な事務費の一部を交付した。	32,310	0235	
103	継続	コミュニティ祭助成事業	5地区コミュニティ祭の開催を支援した。	2,300	0235	
104	継続	コミュニティ助成事業	宝くじの社会貢献広報活動事業として、地域のコミュニティ活動支援のため、活動に直接必要な設備等に対し助成を行った。	2,400	0235	
105	継続	深良コセン改修事業	市民協働を推進するコミュニティの拠点として活性化を図るため、老朽化した施設の改修設計を行った。	6,129	0254	
106	継続	地区集会所設置事業	地区コミュニティ活動の拠点となる地区集会所の整備を、地区要望により行った。	36,152	0690	
107	継続	きれいなまちづくり推進事業	公共空間の美化を促進するため、ボランティアにより継続性をもって行われる環境美化活動を支援する補助を行った。	451	1074	
108	主要継続	市民活動センター運営事業	NPOやボランティア等による市民協働の推進と地域振興を図るため、市民活動センター運営事業委託。	4,600	1074	
109	主要新規	まち・ひと・しごとマッチング事業	公共の担い手(NPO・企業・自治会・ボランティア・学校・行政)の能力を活用したマッチング事業を委託した。	4,400	1074	
110	継続	市民協働推進事業	市民協働を推進するため、市民提案事業と市民パートナー募集事業外の市民協働事業を行った。	937	1074	
111	主要継続	協働によるまちづくり支援事業	地域コミュニティ団体が地域での暮らしを巡る課題に対し、住民主体でその解決に取り組むために行う学習会やワークショップ等を開催する事業について補助を行った。	290	1074	
112	継続	楽しい地域づくり講座	まちづくりに関する話し合いについて、参加者の合意を得ながら進行できる人づくりを推進することで、地域の課題解決を地域で行える体制の構築を図った。	1,260	1074	
113	主要新規	恋来い支援センター運営委託事業	相談事業、出会いの場の提供、学びの場の提供を行い結婚に向けた総合的な支援を委託事業として実施した。	2,500	1074	【繰越明許費： 2,500千円】
114	継続	男女共同参画推進事業	性別に関係なく誰もが平等に機会を持ち活躍出来る男女共同参画を推進するため、推進講座を実施した。	200	1075	

115	主要 継続	みんなで子育てするまち推進事業	子育てにやさしいまちの実現に向けて、地域全体が子育てを応援し、男性も女性も家庭と仕事の両立ができる機運を醸成するための各種事業を長泉町と合同で実施した。	9,091	0222	【繰越明許費： 9,091千円】
116	継続	分別収集奨励事業	一般廃棄物の分別収集等のため市指定ごみ袋使用を促進し、良好な環境保全のため交付した。	6,030	0430	
117	主要 新規	裾野市一般廃棄物処理基本計画策定事業	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条に基づき、一般廃棄物を適正に処理するため、一般廃棄物処理基本計画を策定した。	3,748	0430	
118	継続	一般廃棄物収集運搬業務委託事業	可燃ごみ・資源ごみ・埋立ごみ・粗大ごみ・その他プラ等のごみの収集及び運搬業務を委託した。	140,143	0435	
119	継続	リサイクル推進事業	古紙類・金属類・その他プラ等の資源のリサイクル回収及び選別を行い、循環型社会の形成に努めた。	30,232	0435	
120	継続	最終処分場施設維持管理事業	ごみ焼却で発生したばい塵や焼却灰等及び市民の埋立て廃棄物を埋立処分し、浸出水の適正管理を実施した。	41,352	0445	
121	継続	斎場管理運営事業	裾野市斎場の利用にあたり、市民サービスの維持と火葬を円滑に実施するため、斎場施設の適切な維持管理と運営を行った。	15,148	0420	
122	継続	裾野長泉清掃施設組合運営支援事業	裾野長泉清掃施設組合が運営する、中島苑の維持管理費用を負担金として支出した。	316,632	0441	
123	主要 継続	新エネルギー機器等(防災・減災対応型)導入補助事業	地球温暖化防止対策や環境への負荷が少なく、災害時には非常用電源としても利用可能な新エネルギー機器の購入費用に対して助成した。	9,090	0285	
124	継続	市営墓地事業	第3号墓域の区画販売及び墓域内の管理整備を行い、併せて市民協働により、市営墓地の緑化を推進した。	43,537	6101	
125	主要 継続	新斎場整備事業	斎場は、老朽化が著しく更新が必要であるため、長泉町と共同して調査・計画を実施した。	12,021	0421	
126	継続	焼却・破砕施設等維持管理事業	各施設(機械設備)の運転及び維持管理及び公害対策を実施した。 * 明許: 経年劣化更新事業・廃棄物処理用備品	192,723	0435	【繰越明許費： 161,028千円】
127	継続	防災体制整備事業	第4次被害想定に伴い防災計画を見直し、地震津波対策交付金を活用して防災訓練を実施するとともに、避難所や救護所用防災資機材の充実を図った。	34,792	0287	【繰越明許費： 12,612千円】 【第2回補正】 【第4回補正】
128	継続	防災救護所用備蓄品整備事業	第4次被害想定に伴い防災計画を見直し、地震津波対策交付金を活用して防災訓練を実施するとともに、避難所や救護所用防災資機材の充実を図った。	1,930	0410	【第2回補正】
129	継続	裾野警察署管内防犯協会負担金	裾野警察署管内防犯協会の活動に対する負担金	2,810	0289	
130	継続	防犯灯整備補助事業	地区が管理する防犯灯の高照度化を促進しつつ、既存の防犯灯が地区により適切に管理できるように努めた。	5,854	0289	
131	継続	交通安全施設整備事業	道路反射鏡や区画線等の道路上にある交通安全施設を必要に応じて新設し、又、施設が有効に機能するよう維持修繕を行った。	5,762	0282	
132	継続	消費生活に関する啓発活動	市民を様々な消費者トラブルから守るために、相談業務等を実施した。	574	0730	
133	新規	迷惑電話非着信装置設置事業	高齢者等市民が詐欺や悪質商法の被害にあわないための対策として、悪質な電話勧誘を自動的にブロックするため、迷惑電話のデータベースを活用した迷惑電話非着信装置を85世帯に無料で設置した。	1,643	0731	【第3回補正】
134	主要 新規	富士山南東消防組合運営事業	富士山南東消防組合の維持管理費用負担金	676,829	0901	
135	継続	消防団活動支援事業	地震等の大規模災害から住民の生命、身体及び財産を守るため、各分団に救助用資機材等を整備した。	61,760	0910	
136	継続	消防施設整備維持管理事業	消火栓等の消防活動上必要な施設、資機材の整備・維持管理	11,432	0920	

#### 4. 豊かな自然と暮らしやすさが調和した「すその」

No.	区分	事務事業名	事業概要	決算額	事業 コード	備 考
137	主要 新規	集約都市形成に係る基礎調査事業	都市の現状、特性の把握、将来の都市像及び将来人口密度の検討、分析、公共交通に関する市民アンケート、事業所へのヒアリング、市民ワークショップ、課題整理と望ましい立地適正、公共交通ネットワークに関する基礎調査を実施した。	8,964	0222	
138	新規	都市計画区域区分見直し事業	市北部に集積する工業地の縁辺部において、市街化編入も視野入れた職住近接、防災減災のまちづくりの検討を行った。	3,402	0860	
139	継続	地籍調査推進事業	平成22年度からの第6次全国調査事業10ヵ年計画に基づき、計画的な事業推進を図った。	13,789	0890	
140	新規	屋外広告物物件調査事業	平成28年4月1日の裾野市屋外広告物条例の施行に伴い、市内における広告物の実態を把握するための調査を行った。	2,997	0860	
141	将来 継続	裾野駅バリアフリー化整備事業	誰もが安心安全に裾野駅を利用するため、駅構内にエレベーター等を整備しバリアフリー化を図るための工事に対して助成した。 工事: H27～28年度	155,332	0872	

142	継続	裾野駅西土地区画整理事業	事業見直し(案)に基づき、都市計画決定や事業計画、実施計画の変更作業、換地や道路の変更設計などの作業を行った。また、事業継続箇所については、工事や建物移転等を行った。	538,339	0873	【繰越明許費: 201,702千円】
143	将来 継続	宅地分譲促進事業	市街化区域内の未利用地の優良宅地化を促進するため、基準を満たした宅地分譲事業に対して助成した。	24,000	0863	【繰越明許費: 4,800千円】 【事故繰越: 6,000千円】 【第4回補正】
144	継続	裾野駅西口駅前広場整備事業	JR裾野駅西口臨時駅前広場築造工事及び本設整備に向けた工事施工計画を作成する駅前広場(暫定)設計業務委託を、次年度から前倒しして実施した。 ・築造工事:22,912千円 ・設計業務:4,860千円	27,771	0873	【第4回補正】
145	継続	市内公園等の維持管理事業	都市公園等の維持管理に係る業務を委託した。	13,962	0880	
146	継続	市営住宅維持管理事業	市営住宅の維持管理を行った。	23,679	0895	
147	主要 新規	裾野市住生活基本計画等見直し事業	住宅政策の目標、基本的な施策を定める計画を策定した。	3,866	0895	
148	継続	住宅等建築物耐震化推進事業	木造住宅等の建築物耐震化を推進するためTOUKAI-0事業を活用。 *補正:補強工事に乗せ補助 30万円/件	11,094	0804	【第5回補正】
149	継続	農地整備事業 (通作条件・農道保全対策)	県営による深良南堀～須釜間の市道1-4号線道路改良工事を推進するための事業費負担金を支払った。	4,246	0622	
150	継続	道路関係管理事業	道路台帳、工事図面等の整備や建設補助金・負担金により、道路維持の効率的な管理を図った。	24,611	0803	
151	将来 継続	(仮称)神山深良線整備事業	朝夕の渋滞解消のため、深良地先の市道1-4号線(農免道路)と御殿場市神山地先の道路を整備し、交通の円滑化を図った。	74,258	0803	
152	主要 継続	橋梁維持事業(耐震補強)	安全・供用・復旧性の強化をはかるため、緊急輸送路及び避難路上の道路橋の耐震補強設計及び工事を実施した。	34,638	0812	
153	主要 継続	橋梁長寿命化に基づく点検及び計画再策定事業	道路橋の効率的な維持及び修繕を図れるように、5年に1回の定期点検を実施した。	7,953	0812	
154	継続	民生安定施設道路整備事業	演習場周辺の道路整備事業(南外周道路)を実施した。	31,140	0815	
155	継続	特定防衛施設整備事業	市道2-38号線(下和田)、市道2274号線(金沢)、市道4388号線(須山)等の道路改良を実施した。	284,283	0829	
156	将来 継続	市道2-18号線道路整備事業	将来の交通需要及び市街地の発展に対応するため、深良地区と裾野駅周辺の市街地を南北に結ぶ幹線道路を整備した。	45,917	0832	
157	継続	市道2383号線道路整備事業	市道2383号線(下和田地区呼子住宅団地から県道富士裾野線間)を整備した。	18,919	0832	
158	新規	東駿河湾都市圏都市交通マスタープラン(パーソントリップ)調査事業	東駿河湾環状線や第二東名の供用を受け、交通の流れの変化が想定されるため、静岡県と東駿河湾都市圏(6市4町)でパーソントリップ調査を行った。	1,497	0860	
159	継続	道路維持事業	道路の修繕、草刈り、原材料支給により、道路機能の維持を図った。	91,833	0806	【第6回補正】
160	主要 継続	橋梁維持事業(長寿命化修繕)	道路橋の定期点検結果により、修繕の必要があると診断された橋梁において、安全性の向上及び橋梁の延命を目的として、適正な時期に設計委託及び修繕工事を実施した。	73,669	0812	【繰越明許費: 8,214千円】 【第5回補正】
161	主要 継続	橋梁維持事業(東名跨道橋長寿命化修繕)	道路橋の定期点検結果により、修繕の必要があると診断された東名跨道橋において、適正な時期に設計委託及び修繕工事を実施した。	49,812	0812	【第2回補正】
162	継続	道路ストック総点検・補修事業	修繕の必要があると診断された箇所において、安全性の向上及び道路及び構造物の延命を目的に、適正な時期に設計委託及び修繕工事を実施した。	32,191	0832	【第5回補正】
163	主要 継続	東西地区(市街化区域)道路整備計画に基づく道路整備事業	東西地区内の市街化の促進、緊急車両の通行路確保等を図るため、道路整備計画に基づき道路整備を実施した。	104,524	0809	【第5回補正】
164	将来 継続	市道1-26号線整備事業	都市計画街路平松深良線整備に伴う通過車両の生活道路への流入を防ぐため、平松深良線(公文名工区)の終点部と市道1-4号線(農免道路)間を整備した。	59,219	0832	【繰越明許費: 47,887千円】
165	将来 継続	都市計画街路平松深良線整備事業	市内の幹線道路を整備するため、平松深良線のうち市民体育館前通りから千福公文名線、佐野茶畑線から駅東通り間を整備した。	100,617	0878	【繰越明許費: 17,426千円】
166	新規	市道1-15号線道路改良事業	渋滞緩和対策として、駒門スマートインターチェンジの設置も見据え、市道1-15号線への右折レーン設置等の交差点改良工事に伴う測量業務委託を実施した。	8,193	0829	【第4回補正】
167	継続	すそのーる運行委託事業	中心市街地の活性化と住民の利便性向上のため裾野駅を起点とした循環バス3路線の運行した。	30,656	0222	

168	継続	公共交通空白地域移動確保対策モデル事業	公共交通空白地域の移動手段を確保するため、地域住民との協働により新たな仕組みを構築した。	58	0222	
169	継続	市単独土地改良事業	安定した農業経営を図るために、農業用排水路の新設、改良を行った。	37,237	0640	
170	継続	県単独土地改良事業	久根地内の三間堀川支流の老朽化した水路の改修を行った。	20,841	0622	
171	継続	市単独林道整備事業	補助事業で対処できない既設林道の改良、舗装工事等を市費で施工し、効果的な林業経営や森林の適正な管理を図った。	2,247	0663	
172	継続	東富士演習場緑地帯撫育管理事業	東富士演習場に起因する水害を軽減すると共に周辺環境保全のため設置された緑地帯の撫育管理を行った。	13,408	0681	
173	継続	東富士演習場内洪水調節池管理事業	東富士演習場内の洪水調節池(又沢・用沢・金沢・鳩の木)の除草・排砂等の管理業務を行った。	19,726	0691	
174	継続	河川維持事業	河川の改修、草刈、浚渫により河川機能の維持を図った。	10,151	0835	
175	継続	水道企業会計工事負担金	水道企業会計に対しての工事負担金	20,560	0803 0873 5601	建設管理: 1,331 区画整理: 11,229 上下水道: 8,000
176	継続	十里木高原簡易水道事業	十里木高原簡易水道事業に繰出して、管路整備及び運営を行うことで、十里木地区の水道の安定供給を図る。	18,268	0422	
177	新規	下水道事業都市計画決定変更関連事業(アクションプラン関連)	基本計画、認可区域等の確認をし、10年概成とする明確な実施計画とするアクションプランを策定した。	4,104	5601	
178	継続	公共下水道整備事業	管渠整備について、富沢・桃園地区の一部を供用開始できるよう進め、順次区域を拡大すべく工事を実施していく。	429,291	5601	【繰越明許費: 35,275千円】
179	継続	中小企業支援事業	経営革新、技術開発等に取り組む中小企業や起業を支援するため、利子補給や補助金により助成した。	58	0701	

#### 5. 今ある魅力と資源を再発見し、未来へつなげる「すその」

No.	区分	事務事業名	事業概要	決算額	事業コード	備考
180	継続	富士山すその阿波おどり大会運営費補助事業	裾野駅周辺の活性化と賑わい創出を支援するため、「すその阿波おどり大会」の事業費に対し補助金を支出した。	2,000	0710	
181	主要新規	がんばる中小企業相談事業(空き店舗対策)	実績のある相談支援専門機関と連携して、常時中小企業や個人事業者からの経営や販路拡大の相談を受け付け、個人の起業推進や中小企業の事業拡大による地域活性化を図った。(週1回)	6,000	0710	
182	主要新規	ビジネスコンテスト事業化補助事業	首都圏や地元の大学生、社会人等に裾野市の資源を視察してもらい、磨かれる前の資源に着目した新ビジネスを企画提案してもらうことで、創業マインドの向上やビジネスマッチングによる地域振興を図った。	1,500	0710	
183	継続	駿東地域職業訓練センター運営助成事業	地域の産業経済の発展を図るため、職業訓練や教育訓練を行う駿東地域職業訓練センターに対し2市1町で運営費を助成した。	5,550	0501	
184	将来継続	住宅建設等促進事業	定住人口の増加及び地域経済の振興を図ることを目的として、住宅の新築等に対して助成した。 新築50万円×42戸・耐震補強・リフォーム20万円×27戸	27,750	0701	【繰越明許費: 10,480千円】
185	将来継続	勤労者住宅建設資金利子補給事業	勤労者の福祉の向上を目指し、住宅を建設するときにおいて融資を受ける場合利子を補給した。	1,233	0501	【第2回補正】
186	主要新規	産業基本計画策定事業	本市の産業が目指す方向性を明確にし、それを実現するための施策を具体的に示すことを目的とした、商業、工業、観光産業の総合的な振興計画を策定した。	3,000	0701	
187	将来継続	企業立地促進事業	企業の誘致及び立地維持を図るため、事業用地取得費、建物機械設備取得費等に対し助成した。	41,635	0711	
188	新規	産業連携地域プラットフォーム構築事業	地域産業のイノベーションなど新たな事業創造や起業を呼び込み続ける地域、企業及び地域産業の連携促進を図るため、産業連携地域プラットフォームを設立した。	23,966	0710	【繰越明許費: 30,865千円】
189	主要継続	県営林道裾野愛鷹線整備事業	森林整備(利用間伐等)の促進を図るため、県営事業で須山地区林道大沢入線から葛山地区林道葛山線を結ぶ約20kmの広域基幹林道開設の事業費補助を行った。	9,525	0653	
190	継続	鳥獣被害防止対策事業	「鳥獣被害防止計画」推進のため、有害鳥獣の保護に係る経費を補助するとともに、デジタル無線機の購入を補助した。	2,903	0608	
191	主要継続	地域戦略作物活性化支援事業	薬用作物とそばを地域戦略作物に位置付け、同作物の作付に対する補助を行うことにより、耕作放棄地の解消、農産物の6次産業化・新たな特産物の創出を図った。	2,478	0608	
192	新規	裾野市農業振興地域整備計画策定事業	農業振興地域整備計画の更新に伴う基礎調査の委託業務を行った。	3,672	0608	
193	継続	中山間地域総合整備事業(一般型)事業計画基本設計負担金	農業生産基盤と生活環境基盤を総合的に整備し、農業・地区の活性化を図るため、県で立案する事業計画調査設計業務に対し、負担金を支出した。	1,500	0608	

194	将来 継続	地域農業担い手支援事業	認定農業者等の農業用機械・施設導入費用や販路拡大のための展示会出展費用等に対して助成した。	2,093	0603 0608	
195	継続	景観作物促進事業補助金	「裾野市パノラマロード」を花でいっぱいにする会」の運営に対して補助を行った。	1,400	0611	
196	継続	特産作物奨励助成事業	水田において、市で奨励する特定作物の生産及び販売する農業者へ助成を行った。	490	0619	
197	主要 継続	深良柏木田・西原耕地圃場整備事業	県営による深良柏木田・西原地区の圃場整備を推進するための工事費の負担を行った。	23,700	0608	【第5回補正】
198	将来 継続	屋上緑化推進事業生産者活動助成事業	ほ場整備と屋上緑化事業の継続に伴う施設の管理や種苗の育成を行う裾野市環境緑花事業協同組合に活動費を助成した。	25,013	0608	【緑越明許費： 25,012千円】
199	新規	林業施設(林業機械)設置助成事業	間伐事業を継続し、市内の森林の環境整備を促進するため、国庫補助(防衛)を活用し、裾野市森林組合所有の林業機械(グラブショベル)の更新費用の一部を助成する。	0	0653	【補正第7回】
200	継続	裾野市夏まつり補助事業	すその夏まつりの運営に対して補助した。	17,870	0720	
201	継続	観光振興事業	裾野市を内外に発信し、交流人口増加を目的として、観光振興事業等に取り組んだ。	5,778	0720	
202	継続	観光施設整備管理事業	公園等の案内看板の整備等の施設改修を行った。	1,123	0720	
203	新規	景ヶ島溪谷公衆トイレ整備事業	利便性向上及び衛生美化を図るため、災害による基礎部分の崩落によりH27に解体した公衆用トイレを再整備する。 (緑越明許により平成29年度へ繰り越して実施)	5,900	0720	
204	継続	交流人口拡大イベント事業	パノラマロード「遊花の里」イベント事業、みどり祭り、ゴルフ場利用促進、観光情報案内等により交流人口の拡大を図った。	3,416	0720	
205	継続	JFAフットボールフューチャープログラムU-12研習会U-12支援事業	サッカーU-12研習会において、近隣市や関係団体と協力し、来場者が楽しめる地域紹介ブースや観光ツアーを企画・運営した。	800	1090	
206	新規	中央公園施設修繕事業	ふるさと納税による寄附金を活用し、管理棟及び公園内トイレの改修工事を実施した。	2,587	0720	【第7回補正】
207	継続	子ども「裾野のモノ・コト」探検隊事業	裾野市への愛着をさらに深め、定住や将来的な回帰を促すため、市内各地を巡りながら裾野の地域資源や暮らし環境について地域の方々との意見交換し、裾野らしさをまとめたビデオを作成した。	259	0222	
208	将来 継続	シティプロモーション推進事業	市の魅力を創出し、ブランド力や認知度のアップを図るため、県内外へ戦略的な情報発信を行う。市マスコットキャラクター“すそのん”の活用やフィルムコミッションなどの充実を図った。	4,784	0209	
209	新規	首都圏向けラッピングバス運行事業	裾野市のPR及び移住促進を図るため、全面広告のラッピング高速バスを通年運行した。	2,138	0222	
210	新規	移住・定住促進事業	移住・定住を促進するため、移住セミナーへの出展、移住促進用パンフレットの作成等各種事業を実施した。	449	0222	
211	新規	ふるさと納税特典品発送業務委託事業	民間専門業者に返礼品を発送、返礼品の追加設定、並びにポータルサイトの更新作業を委託することにより、ふるさと納税制度を拡充し、寄附額の増加を図った。	1,742	0213	

## 6. 健全な行政をみんなが実感できる市民と未来に開かれた「すその」

No.	区分	事務事業名	事業概要	決算額	事業 コード	備 考
212	継続	広報紙作成事業	月2回(年22回)広報紙を発行し、市内の出来事、市の取り組みを市民に広報する。	13,444	0209	
213	主要 新規	市ウェブサイトリニューアル事業	見やすく、作業効率の良いウェブサイトにするため、全面的なリニューアル作業を行う。スマートフォンやユニバーサルデザイン、外国語への対応を含む。	14,990	0209	
214	継続	東富士演習場無線放送施設設置助成事業	平成27～40年度までの14年間で市内全域の防災行政無線をデジタル施設に更新する。平成27・28年度に実施設計を策定する。平成28年度は実施設計(詳細設計)を実施した。	10	0298	
215	新規	「ふりかえる裾野」写真デジタル化事業	田口ライフサービス株式会社様からの寄附を活用し、「広報すその」で使用された写真など、故・田口勝夫氏が昭和20～30年代に撮影した白黒写真のネガフィルムをデジタル化し、長期保存とデジタル素材としての利活用を図った。	230	0209	【第3回補正】
216	主要 継続	住民票等コンビニ交付事業	市民サービスの向上を図るため、マイナンバーカードを用いて住民票等をコンビニで取得できるサービスを提供した。	7,048	0245	
217	継続	ネットワーク管理事業	庁内LAN回線、LGWAN回線等、庁内外のネットワークを安定的に運用できるよう、維持管理を行った。	23,646	0237	
218	継続	社会保障・税共通番号(マイナンバー)制度関連事業	社会保障・税に関する共通番号制度導入に対応するため、住民基本台帳システム及び関連システムを改修した。	16,020	0237	
219	継続	基幹業務システム管理事業	住民記録や税等の基幹業務システムを安定稼働させるシステムの維持管理と更新を行った。	91,525	0237	
220	継続	情報システム管理事業	庁内システムを安定的に運用できるよう保守管理を行った。	14,692	0237	

221	継続	セキュリティ対策事業	国の指針である「新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化」に対応した、ネットワーク強靱化などの事業を行った。	20,299	0237	
222	継続	統計調査事業	統計法に基づく指定統計を実施した。	1,540	0266	
223	継続	ファイリングシステム支援事業	ファイリングシステムの定着を図るため、新規採用職員等に対し研修会を行い、委託業者と共に各課の巡回指導を実施した。	952	0201	
224	継続	庁舎維持管理事業	庁舎を使用する職員及び来庁者の利便性向上に務め、庁舎の維持管理を適切に行い、より効率的に庁舎の機能を保全した。	63,570	0219	
225	継続	普通財産管理事業	市有地を管理し、土地の借上げを行った。	5,554	0218	
226	継続	参議院議員通常選挙	平成28年7月25日任期満了となる参議院議員通常選挙を7月10日に執行した。	16,585	0255	
227	主要 継続	市民課窓口委託事業	住民票交付などの市民サービスの向上を図るため、窓口業務を外部委託した。	22,605	0245	
228	新規	公共施設等マネジメント支援システム導入事業	公共施設等総合管理計画で掲げた総量・管理経費等の縮減、長寿命化を推進するため、市が所有する公共建築物の基本情報等を施設カルテ等により一元的に管理でき、かつ施設分析(施設の評価、将来の修繕更新費用の推計など)可能なシステムを導入した。	3,132	0223	【第4回補正】
229	継続	市債償還事業	市債について、元金及び利子を計画に基づき償還した。	8,939	1201	
230	継続	裾野市地番図精度向上事業	土地・家屋の正確な位置を表示する地番図(編集図)の精度向上事業を実施し(H25～H27年度)、課税データや各種図面の精度向上を図った。併せて、平成30年度評価替えに向け、市街化調整区域の宅地等に、側方・二方路線の加算評価を実施した(H28～29年度)。	9,094	0247	
231	継続	固定資産税等賦課事務事業	固定資産税等賦課のため評価・異動等を行った。また、平成30年度評価替えに向けた事業を実施した。	46,480	0247	
232	継続	下水道事業地方公営企業法適用化事業	平成30年度に地方公営企業法の全部適用に向け、企業会計化等の取組を推進する。	18,500	5604	
233	継続	職員研修事業	多様な行政課題や市民ニーズに対応できる人材を育成し、公務員として資質を高めるために職員に対して研修を行った。	5,901	0206	
234	将来 継続	裾野市総合計画等策定事業・国土利用計画改定事業	第4次裾野市総合計画後期基本計画策定及び第3次国土利用計画裾野市計画を改定した。	6,631	0222	
235	継続	広域行政推進事業	近隣市町で広域的に連携してできる事業を実施した。	150	0222	
236	継続	裾野市海外友好協会補助事業	姉妹都市フランクストン市への小中学生の短期派遣事業や国際交流フェア及び各種講座などの開催を通じ、国際交流の推進や市民の国際感覚の向上を図る。	3,100	0234	
237	継続	演習場対策事業	演習場使用に伴う利害関係者及び周辺住民との諸問題を解決するため、国との調整を行うとともに周辺2市1町との連絡調整を図った。	2,843	0675 0676	
238	継続	議会事務局運営事業	議会の意思決定や、委員会の議論を積極的に情報提供できる環境整備を検討、実施し、市民が正確で容易に情報収集できる環境を整えた。	209,415	0101	
239	新規	議会放送庁舎内設備改修事業	定例会の本会議における議場内の様子を庁舎内テレビに配信し、職員及び市民に公開した。	1,026	0101	
240	継続	監査事務事業	各会計の決算審査、例月出納検査及び定期監査・財政援助団体等の監査を実施した。	21,249	0280	

※区分について 主要:主要事業 将来:将来投資枠事業 新規:新規事業 継続:継続事業

## 平成28年度都市計画税充当状況

都市計画税は、総合的なまちづくりを行うため、街路整備など都市計画事業に要する費用の一部として活用されています。

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳					備考
		特定財源			一般財源		
		国県支出金	地方債	その他	都市計画税	その他	
8款4項 都市計画費	666,727	238,028	196,800	120,032	59,640	52,227	都市計画税充 当対象事業費 のみ
裾野駅周辺 整備費	566,110	188,514	160,500	120,032	51,748	45,316	
平松深良線 街路費	100,617	49,514	36,300		7,892	6,911	
12款 公債費	174,843				93,215	81,628	都市計画税充 当対象事業費 のみ
都市計画事 業公債費	174,843				93,215	81,628	
下水道事業特 別会計	909,821	127,350	270,600	32,839	255,390	223,642	都市計画税充 当対象事業費 のみ
公共下水道 費	433,395	127,350	255,200	32,839	9,600	8,406	
流域下水道 事業費	16,119		15,400		383	336	
事業元金償 還金	330,416				176,157	154,259	
事業利子償 還金	129,891				69,250	60,641	
対象事業合計	1,751,391	365,378	467,400	152,871	408,245	357,497	

※各事業に要する一般財源の比率に応じて、都市計画税を按分して充当しています。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に係る健全化判断比率及び資金不足比率 資料

1. 健全化判断比率

① 実質赤字比率＝	H28 ▲4.12%	＝	$\frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$	※一般会計等＝一般会計、土地取得特別会計及び墓地事業特別会計
	H27 ▲5.16%			

変動要因

- 一般会計等の実質収支の黒字の減による

平成28年度	*参考(平成27年度)	(平成26年度)	(単位:千円)
▲4.12%＝ $\frac{\text{▲5,279,940 (黒字)}}{12,798,017}$	▲5.16%＝ $\frac{\text{▲6,720,059 (黒字)}}{13,018,427}$	▲5.87%＝ $\frac{\text{▲6,486,668 (黒字)}}{11,046,352}$	

② 連結実質赤字比率＝	H28 ▲25.87%	＝	$\frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$
	H27 ▲22.93%		

変動要因

- 国民健康保険特別会計等の実質収支額の黒字の増による

平成28年度	*参考(平成27年度)	(平成26年度)	(単位:千円)
▲25.87%＝ $\frac{\text{▲3,311,692 (黒字)}}{12,798,017}$	▲22.93%＝ $\frac{\text{▲2,985,868 (黒字)}}{13,018,427}$	▲25.07%＝ $\frac{\text{▲2,770,123 (黒字)}}{11,046,352}$	

③ 実質公債費比率＝	H28	7.6%	＝	$\frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$
	H27	8.4%		

変動要因

・特定財源（都市計画税充当可能額）の増による

平成28年度（単年度）

$$7.02\% = \frac{(\text{①} + \text{④⑤⑥}) - (\text{⑧} + \text{⑨⑩⑪})}{12,798,017 - 1,160,800} = \frac{(1,779,860 + 433,539) - (235,864 + 1,160,800)}{12,798,017 - 1,160,800}$$

⑫⑬⑭ - ⑨⑩⑪

平成27年度（単年度）

$$7.23\% = \frac{(\text{①} + \text{④⑤⑥}) - (\text{⑧} + \text{⑨⑩⑪})}{13,018,427 - 1,142,587} = \frac{(1,751,347 + 424,739) - (174,340 + 1,142,587)}{13,018,427 - 1,142,587}$$

⑮⑯⑰ - ⑨⑩⑪

平成26年度（単年度）

$$8.71\% = \frac{(1,952,326 + 380,728) - (215,347 + 1,265,500)}{11,046,352 - 1,265,500}$$

平成25年度（単年度）

$$9.30\% = \frac{(2,042,675 + 357,640) - (166,174 + 1,243,476)}{11,892,425 - 1,243,476}$$

3ヵ年平均（表示は小数第1位、小数第2位以下は切捨て）

$$\text{H28} \quad \frac{7.02\% + 7.23\% + 8.71\%}{3} = 7.6\%$$

\*参考

$$\text{H27} \quad \frac{7.23\% + 8.71\% + 9.30\%}{3} = 8.4\%$$

④ 将来負担比率＝	H28	8.6%	＝	$\frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$
	H27	10.0%		

変動要因

・将来負担額の減による（退職手当負担見込額の減）

平成28年度 (単位：千円)

$$8.6\% = \frac{27,494,219 - (9,337,319 + 3,122,015 + 14,023,376)}{12,798,017 - 1,160,800}$$

\*参考 平成27年度 (単位：千円)

$$10.0\% = \frac{28,404,848 - (9,476,470 + 3,415,334 + 14,317,181)}{13,018,427 - 1,142,587}$$

平成26年度

$$1.1\% = \frac{28,401,132 - (9,707,083 + 3,778,328 + 14,804,560)}{11,046,352 - 1,265,500}$$

平成25年度

$$8.6\% = \frac{28,717,537 - (9,267,703 + 3,397,608 + 15,129,136)}{11,892,425 - 1,243,476}$$

平成24年度

$$6.9\% = \frac{27,948,639 - (9,852,160 + 2,971,619 + 14,443,775)}{10,938,004 - 1,120,581}$$

## 2. 資金不足比率

### (1) 法非適用企業

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足の額}}{\text{事業の規模（営業収益－受託工事収益）}}$$

#### ① 裾野市十里木高原簡易水道特別会計

$$\blacktriangle 0.003\% (0) = \frac{\blacktriangle 1 \text{ 千円}}{31,137 \text{ 千円}} \quad \text{【参考 平成 27 年度・平成 26 年度：}\blacktriangle 0.003\% (0)\text{】}$$

#### ② 裾野市下水道事業特別会計

$$\blacktriangle 0.0005\% (0) = \frac{\blacktriangle 1 \text{ 千円}}{194,379 \text{ 千円}} \quad \text{【参考 平成 27 年度・平成 26 年度：}\blacktriangle 0.0005\% (0)\text{】}$$

### (2) 法適用企業

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足の額}}{\text{事業の規模}}$$

#### ① 裾野市水道事業会計

変動要因： 諸経費（動力費等）削減等に伴う流動資産の増加による

$$\blacktriangle 284.9\% (0) = \frac{\blacktriangle 2,254,717 \text{ 千円}}{791,444 \text{ 千円}} \quad \text{【参考 平成 27 年度：}\blacktriangle 247.6\% \cdot \text{平成 26 年度：}\blacktriangle 216.0\%\text{】}$$